



Let's! **Go To Read!!**

国際理解図書通信

2022 サッカーW杯 出場国紹介

国際理解教育部・ライブラリー October, 2022 第7号

スポーツ観戦ができるようになって久しいですが、みなさんはサッカーワールドカップ2022が、いつどこで行われるか知っていますか？
FIFAワールドカップ2022のグループステージは、11月21日から12月3日にカタールで行われます。ひとつのことに全力で挑んでいる人は魅力的に見えます。また、日本代表として試合に臨んでいる選手の姿からはいろいろなものが伝わってくるのではないのでしょうか。
そこで、ライブラリーと国際理解教育部では、「今だから読んで欲しい国際理解教育の本」を厳選し、特集を組みました。今回は、予選ブロックで日本と対戦する国、「ドイツ・スペイン・コスタリカ」に関する書籍を紹介します。

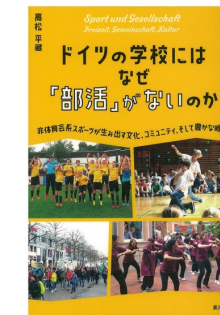


『サッカーのスゴイ話
ワールドカップのスゴイ話』
本多/辰成 ポプラ社 783.4/ホ/4

サッカー強国が熱い戦いを演じる、世界最大のスポーツイベント・ワールドカップ。そんなワールドカップの歴史と、記憶と記録に残るスゴイ話を紹介。
日本代表の軌跡も取り上げる。



ドイツ



『ドイツの学校にはなぜ「部活」がないのか』
高松/平藏 著 晃洋書房 780.7/タ

いじめ、体罰、ギスギスした人間関係、崩壊する地域社会。日本で起こる様々な問題を、ドイツの視線で考えてみると...。「部活」ではなく、地域のスポーツクラブで、老若男女がいきいきと楽しむドイツのスポーツ文化を紹介する。



『一冊でわかるドイツ史』
関/眞興 河出書房新社 234/セ

ゲルマン人の移動、神聖ローマ帝国、日独伊3国同盟、ワイマール憲法、ナチスドイツ、ベルリンの壁、東西統一...。複雑なドイツの歴史をイラストや地図を交えてわかりやすく解説する。コラム「そのころ、日本では？」も掲載。

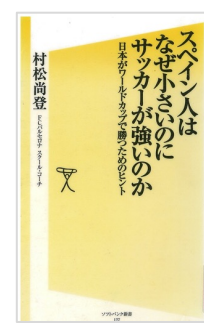


スペイン



『スペイン』
アニタ・クロイ ほるぷ出版 290.8/ナ/35

数多くの写真と地図でスペインをヴィジュアルに紹介。地理、自然、歴史、人と文化、政治と経済の5章にフォーカスして解説する。地形、植生および生態系、歴史、人口、行政の地図、スペシャルコラムなども掲載。



『スペイン人はなぜ小さいのにサッカーが強いのか』
村松/尚登 著 ソフトバンククリエイティブ 5783/L

サッカー・スペイン代表選手の多くは、実は日本人と同じくらい小柄だった！ FCバルセロナスクールの現役日本人コーチが、“小さな巨人”の強さの秘密を探り、日本サッカーの強化策を提言する。

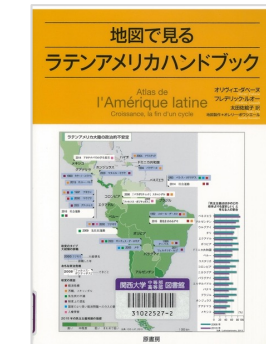


コスタリカ



『体験取材！世界の国ぐにコスタリカ』
渡辺一夫/文・写真 五十嵐義明/監修 ポプラ社 290.8/タ/5

徹底した現地取材で世界のくらしを紹介。全ページオールカラーで写真も充実したシリーズ。5巻では、軍隊をすてた国、コスタリカを取り上げる。大切にされる子どもたち、観光と農業が中心の産業ほかを収録。



『地図で見るラテンアメリカハンドブック』
オリヴィエ・ダベヌ 原書房出版 302/ダ

2000年代の成長と高揚の時期を経たラテンアメリカには、将来に向けてどのような切り札と不安材料があるのだろうか。120以上の地図やグラフで、ラテンアメリカの社会、経済、政治の様相を解説する。

